

ごあいさつ

今年で第 11 回となる「立志 虹の環 ゆめ俳句 選」が、今年も盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。今回は市内の中学校から 2,191 人の生徒が応募し、日頃の学びや感性を生かした多彩な作品が寄せられました。御参加いただいた生徒の皆さん、そして日々御指導いただいている先生方、保護者の皆さまに深く感謝いたします。

俳句は、自然や日常の一瞬を言葉に凝縮し、自分の内面と向き合う貴重な機会を与えてくれます。限られた言葉で表現するからこそ、観察力や想像力、そして自分の思いを伝える力が育まれます。こうした経験は、子どもたちがこれからの時代を生き抜く上で大きな力となるものです。

また、この「立志虹の環ゆめ俳句選」は、我が霧島市にゆかりのある山口誓子に倣って、苦労を重ねながら理想の道を追い求め、世界に羽ばたいてほしいという願いを込めて取り組んでいるものです。夢や希望を俳句に託すことは、自らの志を見つめ、未来へ踏み出すきっかけにもなります。今回の作品展が、生徒の皆さんにとって、自分の可能性を広げ、未来に向かってはばたく一歩となることを願っております。

結びに、本俳句選の開催に御尽力いただいた関係者の皆さま、さらには、選者として御尽力いただきました淵脇護先生に感謝申し上げるとともに、作品を通して生徒の皆さんの豊かな感性に触れていただければ幸いです。

霧島市教育委員会
教育長 池田 浩一